

令和 10～12 年度実施 修学旅行における業者の入札について

- 1 日程 令和 8 年 8 月 25 日（火） 午前 10 時から
※発表順は当日の抽選により決定
- 2 場所 プレゼンテーションルーム 会議室（控え室）
- 3 入札条件
 - (1) 本校の修学旅行に対するコンセプトを踏まえ、適切な旅程を 2 案提案すること。
＜コンセプト＞
 1. 体験学習を通じて、日本の伝統・文化について学ぶ
 2. 体験学習を通じて、国際理解を深める
 3. 日本の歴史学習を通じて、平和や震災について学ぶ上記 1～3 のうちいずれかは必ず取り入れること。
 - (2) 以下の項目に沿った旅行行程であること。
 - ①目的地 1 案は USJ を行程に含み、もう 1 案は特に指定しない。
 - ②交通機関 公共交通機関および貸し切りバス
(場合によってはフェリーも可。飛行機は利用しない)
 - ③宿 舎 全体の行程を優先し、連泊にはこだわらない。また、できる限り貸し切りが望ましいが、絶対的な条件としない。
※風呂は部屋風呂が使用可能であること。
 - ④内 容 平和学習、防災学習、伝統文化・歴史学習、体験学習、観光地見学やグループ別分散行動などのテーマを設ける。
 - ⑤費 用 生徒一人あたり 7～8 万円程度（上限 8 万円）
分散学習やテーマパークの入場料などは費用に含むこと。
- 4 プレゼンテーションの内容および留意事項
 - ・ **2 案の旅行行程を作成し、プレゼンテーションを行う。**
 - ・ 主にプレゼンテーションを行うのは、**USJ を含まない 1 案**とする。
 - ・ 1 業者につき、プレゼンテーションの時間は **15 分以内**とする。
※時間内に質疑応答は含まない。質疑がある場合は、後日書面にて回答していただきます。
 - ・ 旅行日程は毎年度 11 月 2 週目の水・木・金の 2 泊 3 日とする。
 - ・ 分散学習を組み込む場合はモデルコースを 4～5 案程度示す。
 - ・ テーマパークや分散学習を組み込む場合は行程の 2 日目に設定することが望ましい。
(2 日目のみ私服を可とすることが多いため)
 - ・ 添乗員の人数を必ず記載する。
 - ・ 体験学習等によって生徒一人あたりの費用が変化しないことが望ましい。変化する場合は、集金額が変化しないような方策を示すこと。
 - ・ 社会情勢や天候などによりキャンセルを余儀なくされた場合の規定や保険等について明記すること。
 - ・ 修学旅行を担当する年度は、遠足（修学旅行最終日）のバスの手配等も担う。（2 学年分）
 - ・ 修学旅行の積み立て及び会計報告、返金処理については入札した業者が行うこと。
- 5 投票・選定について
 - (1) 入札のプレゼンテーションを参加職員が見て投票する。
審査項目は、「行き先」「活動内容」「交通機関」「安全対策」「費用」「サポート体制」とする。
 - (2) 校外行事検討委員会を中心に、投票の結果を基に総合的に判断して選定する。